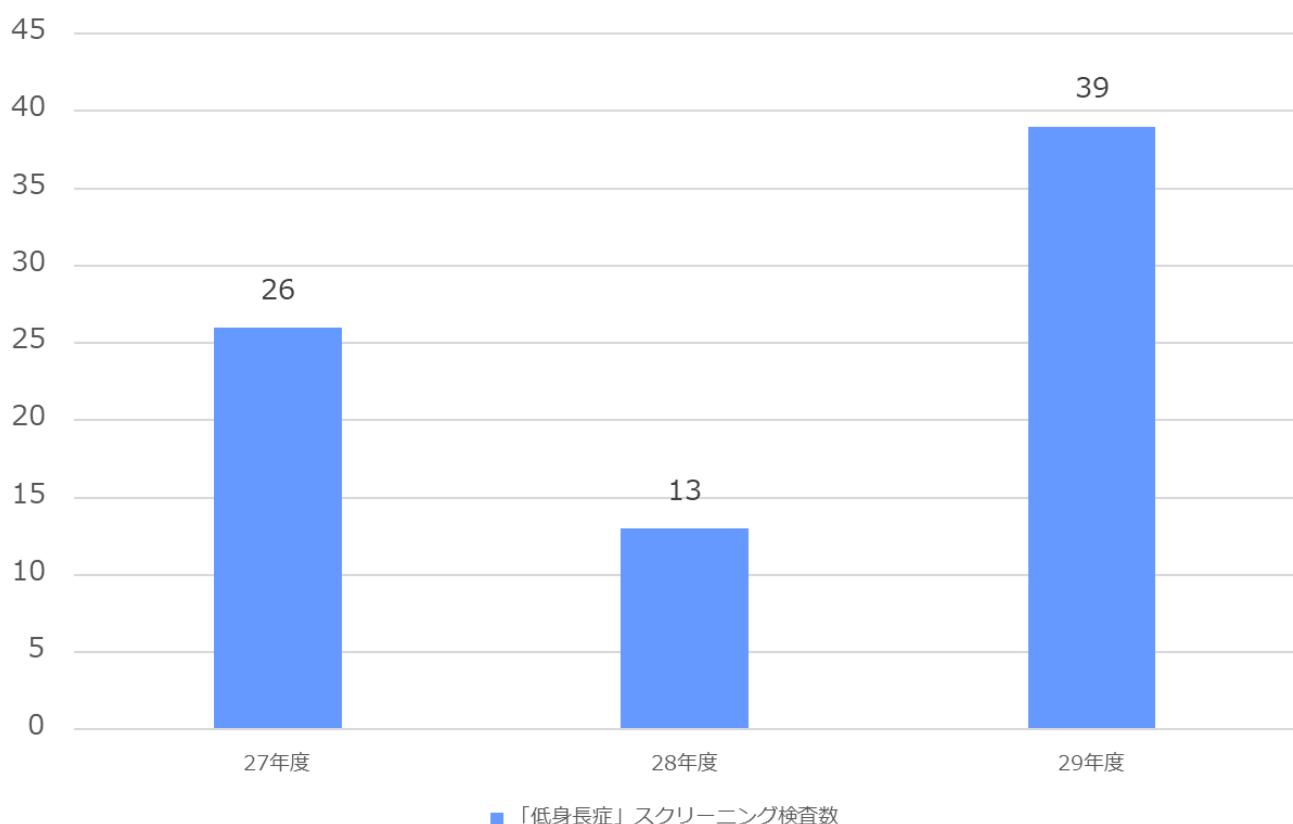


40 低身長症のスクリーニング検査

指標の解説

- 低身長症の中には内分泌疾患、染色体異常、骨疾患など病的な原因が存在する場合がある。その場合は早期に治療を開始することにより最終身長の予後を改善することができる。そのために低身長症のスクリーニング検査が必要である。当該検査を積極的に行っていれば、小児医療に貢献していると評価できる。



成長ホルモン（GH）の成長促進作用を仲介する因子のひとつであるソマトメジンの検体検査件数を示している。